

富 山 県

医療的ケアが必要な子ども達のための

災害時対応マニュアル



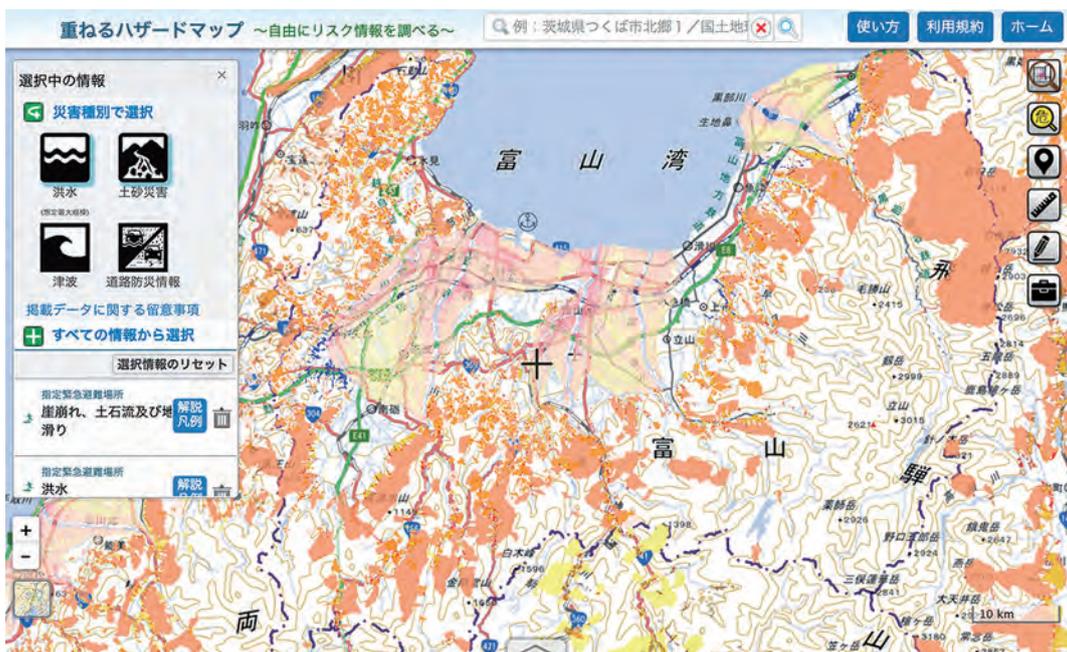
富山県医師会・富山県小児科医会

はじめに

近年、日本では地震や風水害などの大規模な自然災害が連続して発生しています。これまで富山県では大きな災害の記憶がありませんが、過去には大災害の歴史もあります。今から災害への心構えや準備を整えましょう。特に医療的ケアの必要な子ども達には、災害時に避難準備や避難行動等に多くの時間や支援が必要となります。国や地方自治体においてはいろいろな避難計画が策定され、要援護者名簿なども整備されつつあります。しかし、最も重要なことは子ども達ひとりひとりの実情に合わせた個別の計画を作ることです。いざという時のために個人ファイルを作成し、必要な情報を主治医や医療・福祉関係者、学校関係者、行政や近隣住民などと共有できるようにしておきましょう。

災害は目前かも知れません。富山県医師会・富山県小児科医会では、本書「医療的ケアが必要な子ども達のための災害時対応マニュアル」、および個別情報記録のための「医療的ケアが必要な子ども達のための災害時必携ファイル」を作成しました。自助・互助・共助・公助が円滑に行われるよう、日頃からの準備や連携を心がけていただければ幸いです。

ハザードマップで確認 自宅の周りの災害リスクを調べてみましょう



災害時にあわてないため、 しっかり準備しましょう

1 自宅付近で想定されている災害を知っていますか？

◆自治体ハザードマップで以下の災害による自宅付近への影響を確認しましょう。

地震 洪水 土砂災害 津波 高潮 雪崩 その他()

*実際の地図はこちらをご参照いただくと便利です。

ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp>



2 緊急時の避難場所・避難ルート・避難方法は決めてありますか？

◆自治体のマップで最寄りの指定緊急避難所を確認しておきましょう。

◆実際に避難する際のルートと移動方法を決めておきましょう。

◆家族だけで避難が困難な場合、近隣住民へ日頃から協力要請をしておきましょう。

◆災害時は「避難準備・高齢者等避難開始」の段階で早めに避難しましょう。

「避難勧告」や「避難指示(緊急)」まで待つのは危険です。

◆電源喪失、人工呼吸器破損等きわめて緊急な場合の避難先(入院先)を確保しておきましょう。

◆知的障害、自閉症、医療的ケアが必要などで一般の避難所への避難が困難と考えられる場合は「福祉避難所」や医療的ケアが可能な施設への避難を検討しましょう。

◆学校で被災した場合の避難場所や避難方法を確認しておきましょう。

3 緊急時連絡先は記録してありますか？

◆避難への協力を得るため、近隣住民・自治会などの連絡先を記録しておきましょう。

◆すぐに連絡したい親戚、知人等の連絡先を記録しておきましょう。

◆専門的アドバイスを得るため、かかりつけ医・病院・学校等の連絡先を記録しておきましょう。

◆学校で被災した場合の学校との連絡方法を記録しておきましょう。



4 避難行動要支援者名簿への登録は行いましたか？

- ◆災害時の避難誘導や安否確認等の支援に地域関係者が活用するための名簿です。登録は自治体への自己申告ですので、行っておきましょう。(自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、自主防災組織等で共有されます。)

5 医療をうける時に必要な情報は集めてありますか？

- ◆健康保険証、身体障害者手帳等はコピーを取っておきましょう。
- ◆お薬手帳、処方箋等の最新の情報をコピーしておきましょう。
- ◆各種指示書（人工呼吸設定指示書、経管栄養注入指示書、その他）をコピーしておきましょう。
- ◆各種医療機器等の設置方法、接続等の見取り図作成や写真撮影をしておきましょう。(人工呼吸器回路図等)

6 薬剤、医療用具、衛生材料などの備蓄はしてありますか？

- ◆各々1週間分を目安に自宅に備蓄しておきましょう。
- ◆備蓄品リストを作成し、定期的に点検しましょう。
- ◆避難に同行する保護者の必要物品も準備しておきましょう。
- ◆学校での被災に備え、学校の備蓄品リストを作成し、備蓄をお願いしましょう。

7 在宅医療機器の停電対策は万全ですか？

- ◆懐中電灯等のライトを常備しておきましょう。
- ◆電力会社への緊急連絡先を記録しておきましょう。
- ◆停電で使えなくなる機器は各メーカーの問い合わせ先を記録しておきましょう。
 - 酸素濃縮器 人工呼吸器 吸引器 吸入器
 - その他 ()
- ◆各種機器の内部バッテリーの有無と耐用時間を確認しておきましょう。
- ◆各種機器の専用外部バッテリーを準備し、耐用時間を確認しておきましょう。
- ◆外部電源（蓄電池・自動車電源・発電機等）を準備しておきましょう。

◆電気が使えない時の代替手段を確保しておきましょう。

- 人工呼吸器 → アンビューマスク・バッグの準備と使用法習熟
- 加温加湿器 → 人工鼻の準備
- 酸素濃縮器 → 酸素ポンベ準備
- 吸引器 → 足踏み式・手動式吸引器の準備 注射器の活用
- その他 ()

◆学校での被災で停電した場合の電源確保の方法（発電機の場合など）や、代替手段の準備状況を確認しておきましょう。

*詳細はこちらをご参照下さい。

『医療機器が必要な子どものための災害対策マニュアル』
(国立成育医療研究センター編)

https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/cooperation/shinsai_manual.pdf



8 各種医療的ケアの緊急時対応を他の人と情報共有できますか？

◆医療的ケアのタイミングや手順・手技等を情報共有できるように記録しましょう。

◆主治医指示書を学校へ提出していれば、コピーをとっておきましょう。

- 経管栄養
- 気管切開部の管理
- 血糖測定・インスリン注射
- 導尿
- その他 ()

附記

避難所等での新型コロナ感染予防対策について

新型コロナ感染予防対策として、避難所には、検温と健康チェックを頻回に行うこと、避難所内の通路の幅を2m以上、1人あたりのスペースを4㎡以上確保すること、発熱等体調不良者とはスペースや動線を完全に分けることなどが求められています。医療的ケアが必要な子ども達は新型コロナに感染すると重症化する危険性があるため、より厳重な配慮が必要となります。避難所の対策が不十分で電源確保やプライベートなスペースの確保が困難であった場合には、医療機関等対策が可能な場所への移動を考慮しましょう。

＊ ＊ お役立ちサイト情報 ＊ ＊

1. 日本小児科学会 <https://www.jpeds.or.jp>
「医療が必要な子ども達の防災対策」
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/iryohitsuyo_na_bosaitaisaku.pdf
「災害時の小児に対する支援において参考となる資料集」
http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=202
2. 日本小児科医会 <https://www.jpa-web.org>
「子どもと災害」 <https://www.jpa-web.org/information/saigai.html>
3. 小児在宅医療支援研究会 <http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/about/>
4. 全国医療的ケア児支援協議会 <http://iryou-care.jp/about/>
5. 日本医師会 <http://www.med.or.jp>
「小児在宅医療検討委員会答申」
http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20200325_3.pdf
6. 富山市避難行動要支援者支援マニュアル
<https://www.city.toyama.toyama.jp/data/open/cnt/3/2659/1/manual.pdf?20191227164917>
7. 日本医師会「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」
http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/saigai_shelter_manual.pdf
8. 厚生労働省「医療的ケア児等情報共有システム (MEIS) について」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09309.html



＊2020年7月から開始されている広域での情報共有のためのデータベース登録システム

富山県 医療的ケアが必要な子ども達のための災害時対応マニュアル

2020年12月1日 第1版発行

監 修 富山県小児科医会

発行者 公益社団法人富山県医師会

問い合わせ先：

公益社団法人富山県医師会

〒939-8222 富山市蜷川336番地 TEL:076-429-4466 <http://www.toyama.med.or.jp>

